

いわゆる今年の国交省試験 そもそも

問題の出し方が 問題だ！

名古屋地本は、10月11日「申」第4号「国交省試験に対して」の業務委員会を開催し、今年行われた国交省の筆記試験において多くの不合格者が発生した事実、その原因の多くは乗務員の資質の問題ではなく、まさに、回答以前の問題である「言葉遊び」「国語の問題」的な出題自体の問題であった事、そして何より「本当に知識の向上が目的なのか」を会社に対して追及し、主張してきました。

とりわけ今年は特に受験者から、「問題を読むだけで時間オーバー」「何を求めているのか出題の意図がわからない」と言った声が挙がり、「こんな問題で資質を問われたのではたまったものではない」と至極当然な怒りが沸き上がったのでした。

出題者の自己満足的な問題で不合格なんて、
たまったもんじゃない！

再試験を気にし過ぎれば、安全上大きな問題だ！

東海労名古屋地本は、
職場の様々な問題に耳を傾け、さらに闘っていきます！